

オンラインによる語学研修・文化体験プログラム

参加報告書

氏名	Aさん
所属・学年	教育 学部・大学院 小学校教員養成学科・専攻 1 年
プログラム実施 大学名	アルバータ大学 (国名：カナダ)
プログラム期間	令和3年8月18日 - 令和3年8月31日
プログラム参加 の目的	使える英語を学ぶこととコミュニケーションスキルの向上を目的として、このプログラムに参加しました。
プログラムの概 要(授業・フィー ルドワーク内 容、スケジュール等)	月曜日から金曜の9:00から10:30までクラス別の授業があり、火・水・金曜日の12:00から14:00でクラス関係なしで参加自由の SEC activities という授業がありました。日本時間の3:00までに宿題をしなければいけません。クラスの授業は、最初三、四人のブレイクアウトルームでスモールトークを行い、その内容をクラスに伝えるという活動をしました。その後、その日のトピックについて先生からみんなに大まかな説明をした後、また違う人たちとブレイクアウトルームで話し合いました。SEC の活動は workshop と conversation club があり、workshop では前半一時間は CSGCO の人たちと活動し、後半一時間は EAP の人たちとも一緒に勉強しました。Conversation club ではアルバータ大学の現地の大学生がボランティアとして参加してくださったので色々な人と話しました。

プログラム参加によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

授業の中でわからない単語が出てきても、先生やクラスメイトが英語でわかりやすく説明してくださったので辞書に頼ることなく単語を理解することができ、すごく身についたと感じます。毎回、質問に１００語以上で書かないといけないという宿題がありました。先生からはこの宿題は“erabolate”しなさい、と言われてましたが、最初はうまく書くことができませんでした。しかし、先生がもっとこう書くといいとアドバイスをしてくださったので回を重ねるにつれ“good job!”と言ってもらえるようになり、レポートをどういうふうに行けばいいかを知ることができました。また、そのようにきちんと評価をしてもらえるので課題の取り組みも今までより力を入れてできました。他のクラスメイトの意見を聞いて、そういう捉え方があるのだと学ぶことも多々ありました。

プログラム参加全体を通しての感想

最初は一人で不安でしたが、クラスの人たちがとても明るくて先生もたくさんクラスメイトと話す機会を与えてくださるので、とても楽しく活動できました。また、先生が自分の成長や頑張りをきちんと評価してくださることがとても嬉しかったです。また、足りない時には何が足りなくてどうしたらいいのかを伝えてくださるのですぐに改善することができました。スタディーグループというグループの募集がクラスであったので参加したら三人の日本の学生と友達になることができました。ラインを使って英語でやりとりをしています。コロナが落ち着いたら、遊びに行けたらと思います。クラスには韓国の方やロシア、インドネシアの方もいて、カナダの文化だけでなく彼らの文化も知ることができました。また、国は違っても同じ夢を持つ人や同じ趣味、好きな歌手が同じなどたくさんの共通点を見つけることができとても嬉しかったです。このプログラムに参加していなければ、すごく成長させてくれた先生やクラスメイトに会うことはできなかったもので、参加してよかったと心から思いました。また来年参加できる機会があればぜひ参加して、自分の語学力を向上させたくさん友達を作っていきたいです。